ー ともに生き ともに育ちあう ー
認定こども園 たぐちほいくえん
えんだより 11月号

2026.11.1

ぐっと ふんばる
ぐーんと のびる



田口保育園
TAGUCHI NURSERY

朝晩の冷え込みが増し、秋の深まりを感じる季節となりました。
先月のお買い物ごっこでは、子どもたちは本番を楽しみに準備を進め、当日は焼きそばやたこ焼きなどの実演販売、おしゃれな衣装や手作りおもちゃに目を輝かせながら、お買い物を楽しみました。お店屋さんになりきって品物を売ったり、お客さんになって好きなものを選んだりと、子どもたちの笑顔が溢れるひと時となりました。
これから少しずつ寒さが増していきますが、戸外で身体を動かしたり、秋ならではの自然に触れたりする中で、子どもたちの興味や発見を大切にしながら、一人ひとりの育ちに繋げていきたいと思います。






11月の予定

月	火	水	木	金	土	日
★:保護者参加の行事						1
2	3 文化の日	4 英語教室(さくら)	5 体育教室(さくら・きく)	6 田口小交流会(さくら組) スイミング(アクセスジャパン)	7	8
9	10	11	12 秋の遠足(さくら・きく・ばら) 愛情弁当の日	13 スイミング(アクセスジャパン)	14	15
16 七五三お参り	17 ※遠足予備日 書道教室(さくら)	18 内科検診 英語教室(さくら)	19 体育教室(さくら・きく)	20 勤労感謝訪問(さくら組) スイミング(アクセスジャパン)	21	22
23 勤労感謝の日	24	25 お誕生会 ★11月生まれのお子さまの保護者	26 田口小6年生 職場体験	27 子育て支援 "あそびにおいでよ！ ほっとひといき！"	28	29
30						

✿みんなでお寺にお参りに行きます。

✿田口小学校の1･2年生が生活科で作ったどんぐりの作品やおもちゃで、一緒に遊んで交流します。

✿25･26日 田口小学校の6年生が職場体験に来られます。子どもたちと楽しく交流します♪

✿入園申込書について

来年度の入園申込書を配布しています。
継続して入園される方は、11月10日（火）までに園へご提出をおねがいいたします。
記入漏れがないか、ご確認をお願いいたします。

✿遠足について

〈さくら・きく・ばら組の子どもたち〉
11月12日（木）は、大牟田市動物園へバスに乗ってお出かけします。
詳細はコドモンにて「遠足のお知らせ」を配信しておりますので、ご確認をお願いいたします。

✿前期の自己評価目標

子どもたち一人ひとりの育ちを見つめ、各クラスで ①「生活」 ②「人とのかかわり」 ③「興味・関心」の3つの視点から下記目標を設定し、日々の保育に取り組んできました。
次のページには、前期の保育を振り返り、担任がまとめた自己評価を掲載しています。ぜひご覧ください。

たんぽぽ組（0歳児）
①安心してミルクを飲み、発達段階に応じた形状の離乳食を提供し、食べる楽しさや意欲を育む
②保育者との愛着関係を育み、安心して過ごす
③音の出る玩具やさまざまな素材・感触の玩具に興味をもち、触れたり遊んだりする

ばら組（3歳児）
①保育者や年上の友だちと一緒に身の回りのことに取り組み、自分でしようとする気持ちを育む
②友だちや保育者とかかわる中で、「おはよう」「さようなら」「ごめんなさい」など、その場に応じた挨拶や言葉を使おうとする。
③さまざまな遊びに興味をもち、友だちや保育者と一緒に遊ぶ楽しさを味わう

ちゅーりっぷ組（1歳児）
①スプーンやフォークを使って自分で食べようとする
②保育者や友だちとのかかわりを喜び、簡単な言葉やしぐさで思いを伝えようとする
③さまざまな素材や用具に親しみ、指先遊びや感触遊び、製作を楽しむ

きく組（4歳児）
①自分の持ち物を大切に扱いながら、身の回りのことを自分でしようとする
②遊びの中で、自分の思いを伝えたり、友だちの思いを受け止めたりしながらかかわりを深める
③生き物への興味や関心を深め、観察や栽培を友だちと協力しながら楽しむ

すみれ組（2歳児）
①身の回りのことを自分でしようとする
②保育者や友だちと「かして」「どうぞ」「ありがとう」などの言葉のやりとりを楽しむ
③身近な自然物に興味をもち、見たり触れたりして楽しむ

さくら組（5歳児）
①食事のマナー（姿勢や三角食べなど）を意識し、見通しをもちながら時間内に食べられるようにする
②友だちとお互いの思いや考えを伝え合い、相手の気持ちを受け止めながら関わる
③生き物に興味をもち、名前や特徴を知り、観察することを楽しむ

副園長のちいさなつぶやき



少し前から田口保育園に仲間入りしたメダカたち。玄関付近にある水槽は、子どもたちが小さな命に触れ、ほっとひと息つける憩いの場になっています。―そのそばに、「たたかないで めだか かわいいけど」の貼り紙。年長の男の子が書いてくれたものです。「たたかないで」と伝えながらも、「かわいいけど」と気持ちに寄り添う言葉選びが、なんとも素敵でやさしくて、心がほっこりする大好きな貼り紙です。
先日、研修で伺った園の副園長先生が「子どもたちと私たちは、私たちが少し早く生まれただけ。完璧な人はいないし、むしろ子どもたちから学ばせてもらうことばかり。」とお話ししてくださいました。本当にそのとおりだと思います。日々、子どもたちの姿や言葉から、人として大切なことを教えてもらっています。これからも、子どもたちの思いに耳を傾け、寄り添う仲間でありたい。子どもも大人も、ともに生き、ともに育ちあう仲間でありたい。
そんな思いを、メダカの貼り紙が教えてくれます。



２０２６年度前期自己評価

子どもたち一人ひとりの育ちを見つめ、各クラスで ①「生活」 ②「人とのかかわり」 ③「興味・関心」の3つの視点から下記目標を設定し、日々の保育に取り組んできました。

各クラス担任による前期を振り返った自己評価をまとめましたので、ご覧ください。

たんぽぽ組（0歳児クラス）

①生活 ②人とのかかわり ③興味・関心

① 発達段階に応じた形状の離乳食を提供し、食べる楽しさや意欲を育む

➡発達段階に応じて食材の大きさや形状を工夫し、声かけをしながら食事を進めてきました。楽しい雰囲気の中で食事をする姿が見られ、咀嚼や嚥下も上手になってきています。手づかみやスプーンを使って、自分で意欲的に食べようとする姿も見られるようになってきました。

② 保育者との愛着関係を育み、安心して過ごす

➡一人ひとりと丁寧に関わる時間を大切にし、優しく声をかけたり、抱っこをしたりしながら安心できる関係づくりに努めてきました。その中で笑顔が多く見られるようになり、落ち着いて過ごすことができました。今後も、スキンシップやコミュニケーションを大切にしながら、一人ひとりの気持ちや発達に寄り添い、それぞれの成長を支えていけるよう関わっていきたいと思います。

③ 音の出る玩具やいろいろな感触の玩具で遊ぶ

➡手作り玩具や積み木、柔らかい布など、さまざまな素材や感触の玩具に触れ、興味を持って遊ぶ姿が見られました。今後も、一人ひとりの月齢や発達に応じた玩具を用意し、それぞれの興味や反応を大切にしながら、遊びを楽しめるように関わっていきたいと思います。

ちゅーりっぷ組（1歳児クラス）

①生活 ②人とのかかわり ③興味・関心

① フォークやスプーンを使って食べることに慣れる

➡日頃の食事や遊びの中で、スプーンやフォークの使い方を伝えてきました。こぼしたり落としたりしながらも、少しずつ自分ですくって食べることに慣れ、手づかみ食べが減るなど、食具を使って食べようとする姿が見られるようになっています。今後も、自分で食べようとする意欲を十分に認め、達成感や自信につながるように関わっていきたいと思います。

② 保育者や友だちとの関わりを喜び、簡単な言葉やしぐさで思いを伝えようとする

➡保育者や友だちと一緒に絵本を見たり、歌や手遊びを楽しんだりする時間を大切にしてきました。こうした関わりを通して、言葉への興味が広がり、人と触れ合う楽しさを感じる姿が見られています。今後も一人ひとりの思いやしぐさを丁寧に受け止め、安心して自分の気持ちを表現し、人と関わる喜びを感じられるようにしていきます。

③ いろいろな素材や用具を使って指先遊びや感触遊び、製作を楽しむ

➡クレヨンや絵の具、新聞紙、氷、水風船など、さまざまな素材や用具を触れる中で、興味や関心を示し、感触や色、形の変化を楽しむ姿が見られました。今後も、指先を使った遊びや感触遊びを十分に楽しめる機会を設け、さまざまな素材に触れる経験を通して、手指の発達や好奇心を育んでいきます。

すみれ組（2歳児クラス）

①生活 ②人とのかかわり ③興味・関心

① 身の回りのことを自分でしようとする

➡「やりたい」という気持ちを尊重し、できたという達成感を味わえるよう、一人ひとりのペースに合わせて丁寧に関わりました。排泄や着替えも少しずつ上達ていて、子どもたちの自信と意欲に繋がっています。

② 保育者や友達と「かして」「どうぞ」「ありがとう」などの言葉のやりとりを楽しむ

➡保育者が仲立ちとなり、友だちと関わる楽しさを感じられるようにしました。友だちへの興味が深まり、自分から関わろうとする姿や、「かして」「ありがとう」などの言葉でやりとりする姿が少しずつ見られるようになってきています。

③ 身近な自然物に興味を示し、見たり触れたりして楽しむ

➡戸外で過ごす時間を大切にし、虫探しや草花の観察を楽しみました。また、見つけた草花を製作に取り入れることで、自然物への興味や関心がさらに広がりました。今後も季節の移り変わりを感じながら、身近な自然に親しめるよう関わっていきます。

ばら組（3歳児クラス）

①生活 ②人とのかかわり ③興味・関心

①身のまわりのことを年上や保育者と一緒にしながら取り組めるようになる

➡「自分でしたい」という思いを尊重し、さりげなく援助することで、「できた！」とうれしそうに教えてくれる姿が多く見られました。今後も一人ひとりのペースに合わせて丁寧に関わり、自分でできたという喜びや自信に繋げていきます。

②友だちや保育者と関わる中で、その場に合った挨拶や言葉を知る

➡年上の子や保育者の姿をまねて挨拶をしたり、「ありがとう」「かして」などの言葉を自然に使ったりする姿が見られるようになってきました。うまく言葉にできないときも、遊びや活動の中で気持ちを受け止めながら、言葉で表現する喜びを感じられるよう寄り添っていきます。

③様々な遊びを知り、友だちや保育者と遊ぶ楽しさを味わう

➡様々な遊びを経験する中で、新しい遊びに挑戦したり、友だちと一緒に遊びを展開したりする姿が見られました。今後は少しずつルールのある遊びも取り入れ、友だちと楽しさを共有しながら、遊びがさらに広がっていくよう援助していきます。

きく組（4歳児クラス）

①生活 ②人とのかかわり ③興味・関心

① 自分の持ち物を丁寧に扱いながら、身の回りのことを自分でしようとする

➡「早くよりも丁寧に！」を合言葉に取り組んできました。衣服をたたんだり、鞄をしっかり閉めたり、箸の持ち方を意識したりする姿が少しずつ見られ、友だち同士で声をかけ合う姿も増えてきています。今後は「自分の物は自分で！」を合言葉に、自分の持ち物を大切にしながら、自分で管理しようとする意識を育んでいきたいと思います。

② 遊びの中で自分の思いを伝えたり、友だちの思いを聞いたりする

➡自分の思いをうまく言葉で伝えられず、トラブルになることもありましたが、保育者が仲立

ちすることで、少しずつ言葉で気持ちを伝え、友だち同士で話し合おうとする姿が見られるようになってきました。一人ひとりの思いが強く、言葉や口調が厳しくなることもあるため、その都度「どう伝えればよかったかな？」と一緒に考えながら、友だちの気持ちも意識した伝え方や言葉の選び方を知らせていきたいと思います。

③ 生物への興味関心を高め、観察や栽培を友だちと協力して楽しむ

➡野菜作りや虫探しを通して、さまざまな命に触れることができました。中でも植物の栽培の中で、育てる⇒収穫⇒食べる⇒種とり（次につなげる）活動では、たくさんの発見や学びがありました。今後も様々な命と関わりながら、命を大切にする気持ちや思いやりの心を育んでいきます。

さくら組（5歳児クラス）　①生活 ②人とのかかわり ③興味・関心

① 食事のマナー（姿勢・三角食べ）を意識し、時間内に食べられるようにする

➡「ペタ・ピン・トン」を合言葉に、食事時の姿勢を意識できるようにしました。少しずつ自分で姿勢を意識できるようにしました。少しずつ時間内に食べ終える子どもも増えてきました。今後も、食事のマナーや食べ方について子どもたちと一緒に考えながら、主体的に身につけていけるように関わっていきたいと思います。

② 友だちとお互いの思いや考えを伝え合い、相手の気持ちを受け止めながら関わる

➡子どもたち同士で思いを伝え合えるように仲立ちをし、相手の話を聞くことの大切さを伝えてきました。次第に、どうしたら友だちが嬉しい気持ち、悲しい気持ちになるのかを考え、相手の思いに耳を傾けたり、自分の気持ちを言葉で伝えたりする姿が見られるようになってきました。今後も、互いの思いを大切にしながら、自分たちの折り合いをつけていけるように援助していきたいと思います。

③ 生き物の名前や特徴を知る

➡園庭で見つけた虫や草花について、本や図鑑で名前や特徴を調べ、新たな発見を楽しむ姿が見られました。一方で、生き物の命を大切にできない場面もあったため、生き物にも命があること、それぞれに命のつながりがあることを伝えてきました。今後も、実際に生き物を触れ合う経験を通して、命の大切さに気づき、自分から大切にしようとする気持ちを育んでいきたいと思います。

✿一人ひとりの育ちや思いを大切にしながら、前期の振り返りを後期の保育に生かし、保護者の皆さまとともに子どもたちの成長を支えていけるよう、丁寧に関わっていきたいと思います。よろしくお願いいたします。